

芳養公民館だより

未来へつながる道
JUNCTION TO THE FUTURE 田辺市



令和7年4月号 No.498

発行：芳養公民館 館長：小川 鏡 主事：田中 昂志

住所：田辺市芳養松原一丁目15-8

電話：0739-22-1429 FAX：0739-23-1909

防災・人権学習会を開催しました！

3月8日（土）の午後2時から、芳養公民館にて防災・人権学習会を開催し、32名の方にご参加いただきました。

今回は、講師に和歌山ウィメンズワッチタワー（3W）代表の市場美佐子さんをお招きし、「人権に配慮した防災」というテーマでご講演いただきました。今まで多くの被災地支援をされてきた経験をもとに、避難生活での安全・安心な環境を作るためにどのように行動すればよいのか、どのような備えが必要なのかをお話いただきました。また、避難生活での人権問題においても、日頃から人権感覚を磨き、地域全体で乗り越えていかねければならないとも話されていました。

そして、講演後には「簡易トイレづくり」も体験しました。災害時という過酷な環境の中で、身近なものが様々なものの代わりになるということを教えていただきました。参加された方が、お互いに作り方を教え合うところも見え、大変充実した時間でした。

学習会に参加された皆さんを中心に、防災・人権の意識がより地域に広がっていくことで、災害に強い地域になっていくことと思います。

講師の市場さん、ご参加いただきました皆さんありがとうございました。



「簡易トイレ」の作り方を紹介します！ご自宅で作ってみてはいかがでしょうか？

◆用意する物：新聞紙見開き2枚・ペットシート（レギュラーサイズ）1枚・レジ袋大1枚・ジップロック1枚

①新聞紙を2枚重ねます。

②縦半分に折ります。

③点線で横半分に折ります。



⇒

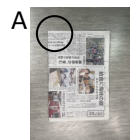


⇒



⇒

④Aを頂点に三角形を作るように折ります。（反対側も同様）



⇒



⇒

⑤表面の1枚（B）をCの方向に向かって折ります。



⇒



⑥頂点を下にし、両端を中央に向かって折ります。（反対側も同様）



⇒



⇒

⑦上部分を点線で折ります。（反対側も同様）



⇒



⑦を広げると箱のようになるので、中にペットシートを敷き、レジ袋に入れたらマイトイレの完成です！



⇒



◎作った後は、ペットシートと一緒にジップロックに入れておくと清潔に保存しておくことができます。

白熱！ソフトバレーボール大会が開催されました！

2月26日（水）午後7時から、田辺市体育センターにて、ソフトバレーボール大会を開催しました。

10チーム計40名の皆さんにご参加いただきました。今回のソフトバレーボール大会には、若い方も多く参加いただき、真剣な中にも楽しい雰囲気の大会となりました。大会の結果は次のとおりです。

【男性の部】

優勝：ラッキー

準優勝：芳養明洋A

3位：山本山

【女性の部】

優勝：松原

準優勝：寄せ鍋

3位：芳養明洋C



公民館使用許可申請がスマホでも可能になります！

公民館を使用する際、これまでは「公民館使用許可申請書」による書面のみの申請でしたが、令和7年4月1日から、スマホやタブレット等を使用してインターネットからも申請できるようになります。なお、従来どおりの書面申請も可能です。インターネットから使用許可申請をされる場合は、以下の点にご注意ください。

【注意事項】

1. 団体登録は、従来どおり書面申請が必要です。
2. 使用許可申請をする前に、電話での仮予約を必ず行ってください。
電話予約がない場合、申請を受け付けられない場合があります。
3. 使用する公民館によって、申請フォームが異なります。

【問合せ】芳養公民館（TEL：0739-22-1429）

芳養公民館の使用許可申請フォームはこちら →



4月の古紙回収予定日【第1・3火曜日】

1日（火）・15日（火）

◎当日の午前中に、芳養公民館前の駐輪場スペースに出してください。

◎回収できるものは雑誌・新聞・ダンボールです。

◎必ず紙ヒモでくくってください。

※回収日以外は、回収できませんので持ち込まないでください。



芳 養 小 学 校



令和 7 年度

健・考・和

4 月号

文責 木村 真由美
TEL 22-1422

恩送り

いつも何を書こうかギリギリまで悩んで、原稿の締切日に間に合わず、公民館主事の田中さんに迷惑をかけてばかりの4年間でした。本号が私にとっての最後の原稿となります。「テーマはこれにしよう!」と、わりと早くから決めていました。

芳養小学校では、多くの方とのご縁に恵まれ、私はたくさんの方の事を学ばせていただきました。これまで本当にありがとうございました。

毎月の芳養ふれあい教室や朝の登校の見守り等、長年にわたる学校へのご支援には頭が下がるばかりでした。様々な授業でも地域の方にサポートしていただき、教育活動の充実にお力添えをいただきました。

また、学校にたくさんお花をくださったり、雑巾を手作りして寄贈してくださったり……。この他にも私たちの気づかないところでお世話になっている方々がたくさんいらっしゃるのではないかと思います。

皆様からの無償の善意に支えられて今の芳養小学校があるといっても過言ではありません。

「恩送り」という言葉があります。受けた恩を直接その人に返すのではなく、別の人に送ることをいいます。世間の人に「恩送り」をしていけば、巡り巡って恩返しになるという発想です。恩送りを受け取った相手が、同じように何人もの人々に恩送りをする、その温かな思いやりのバトンが次々と無限につながれば、きっといい縁が広がっていきます。

地域の皆様に対して、十分なお返しができていないことがずっと気になっていました。しかし、「恩送り」という素敵な考え方に少し救われた気持ちになりました。

私たちは、地域の皆様からいただいたご恩を忘れず、これからも精一杯務めを果たしていくことが「恩送り」になると思っています。

先日卒業式では、育友会長の津葉井さんがご祝辞の中で、ご自身が小学校卒業の日に、担任の先生からいただいた言葉を紹介し、子どもたちにメッセージを贈ってくださいました。涙声で話す担任の先生の様子が目に浮かび、いいお話だと感動しました。同時に、これも「恩送り」ではないかと思ったのです。

後から担任の先生のお名前をお伺いすると、私が以前同じ学校で勤め、お世話になった先生でした。私は、翌日にその先生に久しぶりにお電話し、このことを伝えました。先生はとても感激され、当時の津葉井さんたちのことを懐かしんでいらっしゃいました。「先生っていい仕事だな……」としみじみ思いました。

その先生は、退職後も数年お勤めされ、この春、教師生活にピリオドを打たれるとのことでした。

最後に、PHP 3月号に掲載されていた言葉から

「恩を感じる心がけで縁が深まり、縁が縁を呼んで、運が巡る。出逢いと別れ、旅立ちと帰郷、人生が交錯する春、人びとの運と縁と恩が未来を変える。」

また新たな一年が始まります。これからも、どうか芳養小学校のことをよろしくお願いいたします。



大 坊 小 学 校



清く 高く のびのびと 4月号
～子どもの姿に成長が見える学校をめざして～

◆第55回卒業証書授与式

3月21日（金）に第55回卒業証書授与式を挙行いたしました。4名の卒業生は、卒業証書を受け取った後、将来の夢についてしっかりと決意を語ってくれました。

式辞では、まず、4人の夢について、それぞれ違う夢ですが、周りの人を幸せに、笑顔にできる素晴らしい夢であることを話しました。次に、六年間の思い出や、私から見た6年生としての素敵な姿について一人ひとりに話をしました。さらに、野球で前人未踏の成績をのこしたイチローさんが米国野球殿堂入りを果たした際、満票には一票足りず、周囲が残念がる中「人って、色んなことが足りない。それを自分なりの完璧を追い求めて進むのが人生だと思う。不完全であるのはいいなって。生きていく上で不完全だから進もうとできるわけで、そういうことを改めて考えさせられる。見つめ合える。そこに向き合えるというのはよかったと思います」と清々しい表情で答えた言葉を紹介しました。最後に、保護者、地域の皆様に、これまで学校にいただいた温かいご支援、ご協力について感謝を伝えました。

「別れの言葉」で、在校生が、これまでお世話になった卒業生へお礼の言葉を述べると、涙ぐむ卒業生の姿がありました。その後は、卒業生が小学校生活を振り返り、在校生やお世話になった方々に感謝の気持ちを述べ「♪未来へ♪」を歌いました。4人の言葉や歌とともに思い出のスライド写真が流れ、まさに涙なみだの卒業式となりました。立派な姿で巣立っていった4人の卒業生。夢の実現に向けて中学校でも「清く・高く・のびのびと」頑張ってくれること期待しています。

◆令和6年度末職員異動 ～お世話になりました～

- 中山 博文（校長）稲成小学校へ
- 中川 敬之（事務職員）退職
- 鳥井 希歩（養護教諭）和歌山市立砂山小学校へ
- 榎本 典男（ひまわり学級担任）近野小学校へ

令和6年度を終えるにあたり、ご支援、ご協力をいただきました保護者、地域の皆様に、職員一同、心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

◆みんなの力で素敵な畑に！ Vol. 2 4

～県農業教育賞授賞式～

3月7日（木）に県農業教育賞の授賞式がありました。児童代表の宮崎大翔くんが「畑で野菜を育てることで、僕たちも大きく成長できました」と立派に挨拶をしてくれました。その後、審査委員長の方から、みんなで協力して、一生懸命取り組んできたことをたくさん褒めてもらい、子どもたちはとても嬉しかったようです。最優秀賞と県知事賞の賞状及び副賞を手し、満面の笑みをうかべていました。



明 洋 中 学 校



「自主・自律・連帯」4月号
～令和7年度スタート～

春を迎え、校庭の木々も花や緑の葉が多くなり、華やかになってきました。地域・保護者の皆さま方におかれましてはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

いよいよ、令和7年度のスタートです。本年度もどうぞよろしくお願いします。

◆第76回卒業証書授与式

令和7年3月6日、第76回卒業証書授与式を挙行し、88名の卒業生が、夢と希望を胸に巣立っていきました。答辞では、卒業生代表中村大河君が、涙をこらえながら、心温まるメッセージを披露してくれました。紹介します（一部略）。

暖かな日差しに包まれて、桜のつぼみもふくらみはじめる季節となりました。

本日は私たち卒業生のために、心温まる式を挙行していただき、ありがとうございます。3年前の春、まだ大きな制服に身を包み、私たちは、これから始まる中学校生活への期待や不安と共に入学しました。私たちの学年は「笑顔」が咲き、「ありがとう」の言葉で皆が微笑む楽しい学年になるようにという願いから「咲楽会」と名付けられました。入学して間もない頃は、小学校とは全く違う、「初めて」に戸惑いながらも、一生懸命、授業や部活動に励みました。中学校生活を通して、先生や先輩方から、あいさつなどの礼儀をはじめ、様々なことを教わりました。

～中略～

こうして振り返ると、この3年間、そばにいたことが当たり前だった咲楽会の仲間は、かけがえのない存在でした。一緒に頑張ったり、他愛ない話をして笑い合ったりするのも、今日が最後です。この咲楽会の仲間と今日まで歩んできたからこそ、中学校生活が最高で幸せな思い出であふれたものになりました。咲楽会のみんな、3年間、ありがとう。

私たち卒業生88名は、この明洋中学校に別れを告げ、それぞれの目標に向かって歩んでいきます。仲間と過ごした日々を誇りを持ち、それぞれが望む未来に向かって努力し続けたいと思います。

今まで私たちを優しく時には厳しく愛のある指導をしてくださった先生方。いつも私たちを支えてくれ、悩みにも真剣に向き合ってくれました。先生方に教えていただいたことを胸に、これからさらなる成長を目指して頑張ります。3年間、本当にありがとうございました。

在校生のみなさん。今日まで私たちを支えてくれて、ありがとうございます。これからは明洋中学校のよき伝統を受け継ぎ、さらに素晴らしい学校にしてください。

また、色々な悩みを抱え、素直になれなかった私たちをたくさんの優しさと愛情で支えてくれた家族。普段はあまり伝えられないけど、家族への感謝はしてもしきれません。これからも成長していく私たちの姿を、一番近くで見守っていてください。

最後に、私たちの成長を助け、見守ってくださった全ての方々に、心より深く感謝申し上げます。そして、私たちに素晴らしい出会いや思い出を与えてくれた明洋中学校の益々のご発展をお祈りし、答辞といたします。

